

商 工 労 政 課

○ 商工関係

1 消費生活関連事業

架空請求や悪質商法、クーリングオフなど、増加する消費生活にまつわるトラブルに関し、簡易なものについては電話あるいは直接窓口にて相談者にアドバイスをを行い、より専門性を求められる相談については、市広報広聴課や三重県弁護士会、三重県消費生活センターをはじめとする各種の相談窓口の紹介を行った。

消費生活相談総件数	73 件
-----------	------

2 融資対策事業

(1) 小規模事業資金貸付金

三重県の融資制度中、小規模事業資金について、三重県及び県内各市と協調して原資を拠出し、中小企業者に対する融資制度を実施することにより、金融の円滑化を図るとともにその育成と振興を図った。

決算金額 1,200,000 円

(2) 小規模事業資金保証料補給補助金

伊勢商工会議所の斡旋により三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金の融資を受けた者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行った。

件数	保証料補給補助金額	融資残額	取扱金融機関名
140 件	3,452,514 円	995,144,000 円	百五銀行、第三銀行、三重信用金庫、中京銀行ほか

(3) 中小企業信用保険法の規定による特定中小企業者の認定

中小企業者が三重県信用保証協会の信用保証を受けられる金額は、法律（中小企業信用保険法）によりその上限が定められているが、取引先の急な倒産や災害、営んでいる業種自体が不況の影響を深刻に受けている場合など、緊急の事由により資金需要が発生した際に、上限一杯の保証を受けていたために、新たな信用保証が受けられないということがないよう、一定の要件に該当する場合に、一般の保証枠とは別枠で信用保証を受けられるよう「特定中小企業者」として認定し、中小企業者の資金調達の円滑化を図った。

認定要件	認定件数	根拠法令
全国的に悪化している業種に属する中小企業者	10 件	中小企業信用保険法第 2 条第 3 項第 5 号
金融機関の相当程度の経営合理化に伴って借入れが減少している中小企業者	48	中小企業信用保険法第 2 条第 3 項第 7 号

3 物産販売促進事業

(1) 物産展等への出展

協同組合三重県物産振興会及び伊勢市産業振興会と連携して各地の物産展等に出展し、販路の開拓及び特産品の宣伝振興に努めるとともに、物産展等を利用して伊勢の物産を紹介した観光パンフレット等を広く配布し、PRに努めた。

※物産展等の状況

開催日	開催場所	名称
18. 4. 11 ~ 4. 16	(株)三越 池袋店	第13回三重のふるさと展
18. 5. 10 ~ 5. 15	(株)福田屋百貨店 宇都宮市	第3回三重県の物産と観光展
18. 9. 26 ~ 10. 2	(株)津松菱百貨店 津市	第4回ふるさと三重物産展
18. 10. 13 ~ 10. 18	(株)中部近鉄百貨店 四日市店	第23回三重県の観光と大物産展
18. 10. 17 ~ 10. 27	(株)三越 日本橋本店	第50回旬味まるごと三重展
19. 1. 3 ~ 1. 9	(株)さいか屋 横須賀店	第13回三重県の物産と観光展
19. 1. 18 ~ 1. 23	(株)福屋 広島駅前店	伊勢・志摩パールフェア
19. 2. 14 ~ 2. 20	(株)うすい百貨店 郡山市	第7回三重県の物産展
19. 3. 13 ~ 3. 18	(株)三越 高松店	第7回三重の味と技めぐり

(2) 観光土産品の質的向上

消費者を保護するため、伊勢志摩地区観光土産品公正取引協議会を通じて、その会員が販売している商品の内容量、容器及び表示等を審査し、優良商品の認定と、疑わしい商品には善処を求めることで観光土産品の質的向上に努めた。

区分	開催年月日	出品数	審査結果		
			合格	条件付合格	不合格
第1回審査委員会	18. 7. 26	50点	45点	5点	—点
第2回審査委員会	18. 11. 30	10	9	1	—

4 中小企業振興対策

中小企業の経営体質改善及び強化を支援するため、伊勢商工会議所内にある伊勢中小企業相談所に対して補助金を交付した。

助成団体	事業内容	補助金額
伊勢商工会議所 中小企業相談所	中小企業に対する講習会の開催、経営指導、金融の斡旋	9,500,000円

○ 中心市街地活性化事業

1 中心市街地活性化推進事業

(1) 空店舗等活用事業

中心市街地商店街の集客力及び機能回復の促進することを目的に、市がいせTMO（事務局：商工会議所）に補助金を交付し、「活用モデル事業」、「テナント確保支援事業」、「チャレンジショップ事業」、「空地活用モデル事業」を実施した。当該事業は、新規創業者のための店舗開設、経営の一助だけでなく、商店主の競争心の向上にも繋がっている。

ア 活用モデル事業

(単位：円)

商店街名	名称	開設日	補助金額
めいりん村	めいりん「村の駅」	平成 18 年 11 月	内装工事費 1,000,000

イ テナント確保支援事業

(単位：円)

	商店街名	店舗名	業種	補助金額
新規	めいりん村	ちよっと一杯	居酒屋	150,000
	新道商店街	陽光飯店	中華料理	180,000
		トイズプラネット	おもちゃ	135,000
		味処一休	飲食	180,000
	小計			645,000
継続	めいりん村	Hie's	雑貨屋	40,000
	新道商店街	旅もよう	飲食・ダンス・カラオケ	85,000
		一心道	整骨院	140,000
	小計			265,000
	合計			910,000

ウ チャレンジショップ事業

(単位：円)

	商店街名	店舗名	業種	補助金額
新規	めいりん村	あun	飲食	665,000
		かんちゃん	韓国食材	100,000
	新道商店街	改装費	—	500,000
	小計			1,265,000
継続	めいりん村	アクティブスマイル	介護人材派遣	20,000
	小計			20,000
	合計			1,285,000

エ 空地活用モデル事業

(単位：円)

商店街名	名称	補助期間	補助金額
新道商店街	ふれあい広場	H18.12～ H19.3	整備費 500,000
			賃借料(4箇月) 120,000
			計 620,000

(2) 各種調査事業

ア 浦之橋・新道通行量等調査

浦之橋商店街においては、伊勢市保育所「きらら館」が、平成 19 年 4 月 1 日の開所に伴い、その前後の商店街に及ぼす影響の把握と今後の商業振興対策の基礎資料を得るため開所前の通行量（自動車、歩行者）を調査した。また、浦之橋商店街における共同駐車場対策の基礎

資料として活用するため、路上駐車台数及び駐車時間を調査した。

新道商店街においては、地産地消を目的とした「いせ産直市場」が新道商店街の空き店舗（ピアティ跡）での開設に伴い、その前後の商店街に及ぼす影響の把握と今後の商業振興対策の基礎資料を得るため開設前の歩行者通行量を調査した。

イ 商業まちづくり補助金事業

市がいせTMOに補助金を交付し、中心市街地において商店が集団形成をとっている商店街又はこれに類する団体の発展及び活性化を図ることを目的として、地域と一体となって消費者に魅力ある商店街づくりのために行う事業（提案型）に対し補助金を交付した。

（単位：円）

選 定 団 体	事 業 名	補 助 金 額
伊勢高柳商店街振興組合	新伊勢市を祝う商店街まつり	252,000
伊勢銀座新道商店街振興組合	伊勢の夜祭	350,000
伊勢市商店街連合会	商店街「若手の力発揮」事業	350,000
伊勢明倫商店街協同組合	商店街イメージアップ事業 「めいりん村」	350,000
計		1,302,000

(3) TMO構想推進協働事業

中心市街地を活性化させるためには、賑わいの場、もてなしの場、快適で楽しい暮らしの場としての再生が求められ、地域住民や商店街等の相互の理解と協力が重要であることから、平成17年1月から市としてまちづくりに取り組むランチとしての活動拠点及び「いせTMO」の活動拠点を中心市街地に移設し、地域住民、商業者、行政、商工会議所等との連携を強化させ、協働のまちづくりを実現するため、厚生地区まちづくり協議会の活動支援など中心市街地の活性化に取り組んでいる。特に今年度は、地区住民が「厚生地区まちづくり計画（けやき宣言）」を策定するための活動支援を行った。

また、中心市街地PR事業として、中心市街地で開催される各種イベント等を集合チラシ（新聞折込）にて情報発信を行った。

○ 労政関係

1 雇用対策事業

(1) 中高年齢職業相談

中高年齢者にとって厳しい雇用状況が続く中で、それに対応するため、伊勢公共職業安定所と協力し、サンライフ伊勢内に設置している相談室で中高年齢者を対象に職業相談を行い、雇用の促進に努めた。

求 人 相 談	求 職 相 談	計	就 職 件 数
8 件	4,315 件	4,323 件	116 件

(2) 若年求職者等支援事業

雇用情勢は改善傾向にあるが、求人と求職のミスマッチは大きく、雇用の実態感は依然として厳しい状況が続く中で、若年者の雇用情勢も厳しい状況にある。この状況に対応するために、カウンセリング事業及び有識者によるセミナーを開催し、若年求職者に対する各種情報提供や相談業務を行い、早期就職の支援に努めた。

ア カウンセリング事業

- ・実施期間 平成 18 年 4 月から平成 19 年 3 月の原則毎週火曜日におしごと広場みえ（三重県）と共同で開催した。
- ・委託先 社団法人日本産業カウンセラー協会中部支部三重事務所
- ・委託料 473,480 円
- ・実績 相談件数 延べ 88 回

イ 若年者就職支援セミナー

三重県主催と協働で、若年求職者向けの就職支援セミナーを開催した。

- ・内容 企業が若年者に求めている就職基礎能力（コミュニケーション能力、職業人意識、ビジネスマナー、基礎学力）を取得する。
- ・対象 概ね 30 才までの求職者（学生生徒は除く）
- ・日時 平成 19 年 1 月 11 日（木）～ 1 月 29 日（月）の間（火・土・日曜日を除く計 11 回）
午前 9 時 30 分から午後 5 時
- ・場所 伊勢市観光文化会館
- ・参加者 3 名

2 勤労者福祉事業

(1) 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金

平成 10 年 11 月 30 日に任意団体として設立した伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターは、社会的信用性の確保と公益性を明示するため、発展的に解散し、平成 15 年 4 月 1 日に社団法人として設立した。

当初は、伊勢市、鳥羽市、二見町、小俣町、玉城町及び御菌村の 2 市・3 町・1 村で広域設立し、平成 17 年 11 月 1 日の市町村合併により、現在は伊勢市、鳥羽市及び玉城町の 2 市・1 町で設立している。

この法人は中小規模の事業所が、単独では実施の困難な福利厚生事業を提供することを目的として、慶弔給付などを行う生活安定事業、健康診断の斡旋及び補助を行う健康維持増進事業、旅行やスポーツ大会の開催、提携施設の割引利用斡旋及び各種チケット斡旋を行う余暇活動事業並びに教養文化教室の開催及び参加補助を行う自己啓発事業を行っている。

名 称	所 在 地	補 助 金 額
(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンター	八日市場町13番13号 (サンライフ伊勢内)	29,084,000円

なお、平成19年3月末の状況は、次のとおりであった。

会員事業所数	会 員 数
601事業所	3,745人

(2) 勤労者ふれあい事業

(社)伊勢志摩勤労者福祉協議会等と共催して、'06勤労者ゆとりフェスティバルを10月8日に県営サンアリーナを会場に開催した。

当日は、市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約25,000人が参加し、ゆとりと豊かさの実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。

3 高年齢者労働対策事業

(1) 高年齢者労働能力活用事業費補助金

高齢化社会が急速に進む中で、高年齢者の多様化する就業ニーズに対応するための労働対策及び生きがい対策の一環として設立した(社)伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。

名 称	所 在 地	補 助 金 額
(社)伊勢市シルバー人材センター	勢田町628番地3 (伊勢市労働福祉会館内)	19,940,000円

なお、平成19年3月末の活動状況は次のとおりであった。

会 員 数 (平成19年3月末現在)	延べ就業人数	受託件数	契 約 金 額
781人	70,878人	3,019件	333,713,244円

(2) 高年齢者生活援助サービス事業費補助金

(社)伊勢市シルバー人材センターは、市健康課から「伊勢市軽度生活援助事業」を受託し、日常生活に援助が必要な高年齢者に対して、高年齢者の在宅での自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を予防するサービスを提供するため、軽易な日常生活上の援助を行っている。

この事業等の高年齢者生活援助サービスの実施に必要な介護講習や教材費、コーディネーターの謝金に係る費用を補助することにより、シルバー会員の就業支援だけでなく、シルバー人材センターの「福祉の受け手から担い手」としての体制づくりを支援した。

名 称	所 在 地	補 助 金 額
(社)伊勢市シルバー人材センター	勢田町628番地3 (伊勢市労働福祉会館内)	2,500,000円

なお、平成19年3月末の活動状況は次のとおりであった。

登録会員数 (平成19年3月末現在)	延べ就業人数	受託件数	契約金額
82人	7,750人	426件	28,165,655円

4 サンライフ管理運営事業

勤労者福祉施設であるサンライフ伊勢を管理・運営し、各種の自主事業等を実施した。

また、平成18年9月からは指定管理者制度に移行し、(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターによる管理運営を実施した。

指定管理者	指定管理料(平成18年9月～平成19年3月分)
(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンター	2,993,000円

(1) 各種自主事業

勤労者を主な対象とした趣味づくりと健康づくりの講座を開催することにより、勤労者の福祉の増進と文化の向上を図った。

ア 趣味づくり

講座名	講座回数	受講者数	講座名	講座回数	受講者数
陶芸	23回	377人	伊勢型紙	23回	645人
パッチワーク	23	619	俳画	23	624
ペン習字	23	622	七宝焼	11	92
カラオケ1	42	1,321	実用書道	23	532
カラオケ2	42	1,366	籐工芸	23	432
カラオケ3	42	1,388	茶道	23	344
華道	23	313			

イ 健康づくり

講座名	講座回数	受講者数	講座名	講座回数	受講者数
卓球	41回	1,014人	太極拳①	41回	1,272人
気功	41	974	太極拳②	41	1,313
ヨガ①	41	648	レクダンス①	20	334
ヨガ②	41	618	レクダンス②	41	1,438
3B体操	41	905			

ウ 集計表

区 分	講座の種類と講座数	講座回数	受講者数
趣味づくり	11種 13講座	344回	8,675人
健康づくり	6 9	348	8,516
計	17 22	692	17,191

(2) 運営状況

ア 利用件数及び利用者数

区分	研修室	会議室	職業講習室	教養文化室	体育室	トレーニング室	計
利用件数	件 502	件 280	件 649	件 343	件 839	件 24,284	件 26,897
利用者数	人 4,623	人 2,475	人 18,422	人 3,692	人 20,302	人 24,284	人 73,798

イ 利用料収入

	施設利用料	設備器具利用料	冷暖房設備利用料	計
H18. 4 ~ H18. 8	6,096,910円	162,020円	213,320円	6,472,250円
H18. 9 ~ H19. 3	7,293,740	333,890	300,620	7,928,250
計	13,390,650	495,910	513,940	14,400,500

※平成18年9月以降は指定管理者の収入。

5 労働福祉会館管理運営事業

(1) 伊勢市労働福祉会館運営委員会

労働福祉会館運営委員会を平成18年8月1日および平成19年2月23日の2回開催し、地域労働者の福利の増進と市民の文化向上を図るため、伊勢市労働福祉会館の今後の施設運営等について協議を行った。

・協議内容

平成18年8月1日 会館改築等の経過報告、今後の施設運営について

平成19年2月23日 会館改築等の経過報告、今後の円滑な管理運営、適切な利用等について

・組織

委員長 助 役、副委員長 産業部理事

委 員 労働者を代表する者 4名、公益を代表する者 2名、市職員を代表する者 2名

(2) 運営状況

施設運営については、平成17年12月よりアスベスト除去工事のため貸館を中止していたが、5月15日に貸館を再開した。

ア 使用件数及び使用者数

区 分	大会議室	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第4会議室	和室1	和室2	計
使用件数	109 件	183 件	299 件	112 件	105 件	93 件	87 件	988 件
使用者数	5,807 人	1,897 人	6,369 人	1,283 人	736 人	545 人	1,406 人	18,043 人

イ 使用料収入

労働福祉会館使用料	1,657,300 円
-----------	-------------

6 伊勢市やすらぎ公園プール関連

やすらぎ公園プールを開設し、勤労者の福祉の増進と体力の向上を図った。

(1) 開設状況

ア 開設期間 平成18年7月1日～9月10日 (53日間)

イ 入場者数

区分 月別	大 人	小 人	付 添 人	計	超過料金者
7	2,119 人	3,565 人	780 人	6,464 人	47 人
8	1,754	3,149	609	5,512	68
9	286	473	79	838	14
合 計	4,159	7,187	1,468	12,814	129

ウ 入場料収入

区分 月別	大 人	小 人	付 添 人	超過料金者	計
7	621,000 円	711,720 円	77,720 円	2,350 円	1,412,790 円
8	526,200	629,800	60,900	3,400	1,220,300
9	85,800	94,600	7,900	700	189,000
合 計	1,233,000	1,436,120	146,520	6,450	2,822,090

(2) やすらぎ公園プール整備事業

平成9年度の塗装工事から9年経過し、塗装のはがれが目立ってきたため、流水プールと幼児用プールの塗装工事を実施した。

また、プール排水口・吸水口の蓋を点検し、安全確認するとともに、万が一の事故防止のため、幼児用プールの水位調整口の蓋固定工事と、流水プール・幼児用プール・競泳プールの排水口、流水プールの吸水口の吸込防止2重構造工事を実施した。

加えて、利用者の便を図るため、多目的便所の改修を実施した。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
旭地町内	(注) 伊勢市やすらぎ公園 プール流水プール塗 装工事	プール塗装 825.0 m ²	円 4,242,000	18. 5.19	18. 6.12
旭地町内	やすらぎ公園プール 幼児用プール水 位調整口蓋固定 工事	蓋固定工事 1箇 所	36,750	18. 8. 4	18. 8. 4
旭地町内	やすらぎ公園プール 排水口・吸水口等の 吸込防止2重構造工 事	管口溶接工事 6箇 所	152,250	18. 8.12	18. 8.12
旭地町内	(注) 伊勢市やすらぎ公園 プール便所改修工事	多目的便所改修 一 式	1,165,500	19. 2. 6	19. 3.15
計	4件	—	5,596,500	—	—

(注) 建築住宅課施行

7 融資対策事業

(1) 勤労者持家促進資金貸付金制度

市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子の一部を負担することで、勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。利子負担の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。なお、協調融資期間は7年間で、その期間中は低金利となっている。

新規融資件数	新規融資額	貸付総額	貸付残高
0件	0円	63,200,000円	30,298,204円

(2) 勤労者教育資金貸付金制度

市内に居住する勤労者がその親族に必要な教育資金について、東海労働金庫が実施する教育資金貸付を利用するとき、その利子の一部を負担することにより、勤労者の負担の緩和を図った。この制度は、市が東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益から利子負担するものである。協調融資期間は4年間で、その期間中は低金利となっている。

新規融資件数	新規融資額	貸付総額	貸付残高
0件	0円	10,780,000円	0円

8 三重県南部地域雇用促進協議会

三重県南部地域における地域企業の発展・躍進による雇用機会の創出と増大を図るために、県南部地域市町村と地域経済団体により、平成 16 年度に「三重県南部地域雇用促進協議会」を設立した。

伊勢地区においては、次の事業を実施した。

(1) 企業合同就職説明会の開催

地域内企業を活性化するために、地域内の求職者及びU・I ターン希望者に情報を発信し、地域内の企業を一同に会して、合同就職説明会を開催した。

- ・日時 平成 18 年 6 月 17 日（土） 13：00～16：00
- ・場所 三重県営サンアリーナ
- ・対象者 U・I ターン就職希望者、平成 19 年 3 月大学・専門学校等卒業予定者
学卒未就職者、再就職希望者
- ・参加企業 50 社
- ・参加者 275 人

- ・日時 平成 18 年 10 月 19 日（木） 13：00～16：00
- ・場所 三重県営サンアリーナ
- ・対象者 U・I ターン就職希望者、平成 19 年 3 月大学・専門学校・高校卒業予定者
学卒未就職者、再就職希望者
- ・参加企業 53 社
- ・参加者 246 人

(2) 人材高度化研修（ものづくり講演会）

各種研修により、新技術・商品の開発、販路拡大、新分野進出など新事業展開に取り組み、それに伴う新規雇用を図る研修を行った。

- ・日時 平成 18 年 11 月 15 日（水） 19：00～21：15
- ・場所 伊勢商工会議所 4 階中ホール
- ・講師 株式会社おやつカンパニー 第一開発室 徳田忠幸氏、第二開発室 河村朗子氏
- ・参加者 53 名

企 業 誘 致 課

○ 企業立地関係

1 企業誘致活動の推進

日本立地センター・ふるさと財団・三重県東京事務所等を訪れ、立地に関する企業ニーズ、先進事例の情報把握、補助金獲得も含めた活動を実施した。また、県内・市内企業にも目を向け、工場増設計画・新分野進出の意向把握の実施や、業界情報を把握する各種団体を訪問し、情報収集するとともに企業の工場進出について協力を依頼した。

(1) 訪問先企業（業種別一覧）

業 種	件 数	業 種	件 数
製 造 業	65	団 体	7
研 究 ・ 認 証	8	行 政 機 関	23
不 動 産	7	そ の 他	10
情 報 機 関	6	合 計	126

(2) 訪問先企業（地域別件数）

都 道 府 県 名	件 数
県 外	32
県 内	94
合 計	126

2 工場団地ならびに工場等誘致奨励制度の周知

市の優遇制度の周知を図るため、中部経済新聞（平成 18 年 11 月 30 日）・伊勢市ホームページ等に掲載し、市内工業団地の紹介ならびに市内への工場等の立地を奨励した。

3 工場等誘致奨励措置事業者の指定と奨励金の交付

伊勢市工場等誘致奨励条例に基づき、指定済の 1 事業者に対し奨励金を交付した。

事 業 者 名	所 在 地	交 付 金 額
(株)オクノテック	伊勢市鹿海町字赤土山 439- 1	1, 209, 450 円

(注) 1 事業者に対し、3 か年に渡り交付する。

4 企業立地研修会等への参加

地域活性化につながる企業誘致、工業開発を一層推進するため、研修会等に参加し情報収集に努めた。

年月日	研修会名称	開催場所	主催者及び内容
18. 4. 21	三重県企業立地セミナー	津 市	三重県 企業誘致の進め方について
18. 11. 8・ 9	第 112 回産業立地研修会	東京都	(財)日本立地センター 産業立地による地域再生
19. 2. 14	地域産業活性化法（仮称） 説明会	津 市	三重県 地域産業活性化法の概要説明

5 まつり博跡地企業誘致基盤整備事業

三重県企業立地室との定期協議、庁内関係各課で構成される「まつり博跡地・社会基盤整備対策検討チーム」により、まつり博跡地への企業誘致を実現させるため、開発及び開発に係る社会基盤整備について協議し、これを基に、まつり博跡地企業誘致基盤整備事業を実施した。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 工	完 工
朝 熊 町 地 内	(注) まつり博跡地企業 誘致基盤整備測量 業務委託	平面測量 25,000 m ²	円 1,489,950	18. 10. 31	18. 11. 30
〃	(注) まつり博跡地企業 誘致基盤整備設計 業務委託	管渠実施設計 一式 開発申請書作成 一式	2,770,950	18. 10. 31	19. 3. 15
〃	(注) まつり博跡地企業 誘致基盤整備汚水 管渠施設調査委託	管内 T V 調査 一式	430,500	19. 3. 9	19. 3. 26

(注) 基盤整備課施行

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
朝 熊 町 地 内	(注) まつり博跡地企業 誘致基盤整備工事	施行延長 459.5m 管渠工 443.3m 舗装工 505.0 m ² 附帯工 一式	円 22,347,150	18. 12. 28	19. 3. 15
〃	(注) まつり博跡地防火 水槽新設工事	耐震性防火水槽 一基	4,670,400	18. 12. 28	19. 3. 15

朝熊町 地内	まつり博跡地標識 設置工事	消火栓標識 一式 境界杭設置 一箇所 境界プレート設置一箇 所	円 16,800	19. 3. 20	19. 3. 30
-----------	------------------	--	-------------	-----------	-----------

(注) 基盤整備課施行

6 新分野進出等企業支援補助事業

(財) 地域総合整備財団<ふるさと財団>を通じ、新分野に進出する企業の研究開発等に係る経費に対し補助金を交付し、市内企業の新産業の育成と雇用の拡大に目を向けた新分野進出等企業支援補助事業を実施した。

事業者名	所在地	採択内容	交付金額
(有)伊勢シートメタル	伊勢市西豊浜町字明野 5064-1	インターネットを活用したリアルタイムホームセキュリティシステム機器の開発	3,000,000円

産業支援センター準備室（工芸指導所）

○ 産業支援センター推進事業

1 産業支援センター建設への取り組み

産業支援センターの建設が、1年延期になったことを受け、各関連機関との調整を行った。

産業支援センターの設立に向けて、より機能的で効率よい建物条件を満たすため、建物等の一部の変更設計を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了予定
朝地 熊町内	(注)、(注1) (仮称)産業支援センター新築工事変更設計業務委託	本棟 鉄骨造 2階建 約 721.45 m ² 実習棟 鉄骨造 2階建 約 385.66 m ²	円 1,260,000	19.3.30	19.5.10

(注) 建築住宅課施行

(注1) 平成19年度へ繰越

2 企業調査の実施

産業支援センターの建設にあたり、平成15年度から平成17年度にかけて製造業社を中心に、企業調査を行ったが、平成18年度においては、引き続き、民間企業のOBを嘱託員として採用し、その調査内容の分析、追加の調査を行い、市内企業の実態の把握、企業ニーズの把握に努めた。加えて企業訪問を積極的に行い、企業が直面する課題の解決にあたった。

3 産業支援センター設立のための情報収集

国・県や大学をはじめとする支援機関・研究機関などを訪問し、中小企業支援のメニューや試験設備の情報を収集するとともに、これら機関と支援体制のネットワークの構築を進めるなど、センター設立のための仕組みづくりを進めた。

4 新産業創出支援事業補助金の交付

「新たな製品」を創り出せる優れた技術を持つ中小製造業者又は中小製造業者の団体の育成を図るため、中小製造業者等が行う新製品、新技術の研究開発に対し、補助金を交付し、地場産業の活性化と企業力の強化を図った。

補助金の交付金額の確定にあたっては、大学教授をはじめとする学識経験者等から構成される審査会で事業経過及び実績等を審査したうえで決定した。

事業者名	交付額	事業内容
S R P株式会社	2,000,000 円	ボールダウン金物及び木材加工機の開発
有限会社コムデック	1,699,000 円	青果仲卸向け販売管理システム開発
株式会社松井鉄工所	1,330,000 円	新方式安全配慮型高効率風力発電機の

		研究開発
株式会社 伊勢志摩マリンファーム	2,000,000 円	アサリ生産システムの開発と高品質加工
有限会社キャリオン	1,563,000 円	おみくじと共に食する (伊勢の茶おみくじフード研究開発)

5 伝統工芸品等再生支援事業補助金の交付

伝統工芸品産業の振興を図るため、製造業者等が行う後継者育成等の伝統工芸品産業の再生及び発展につながる事業に要する経費に対し、補助金を交付し、伝統工芸の育成支援に努めた。

事業者名	交付額	事業内容
伊勢春慶の会	200,000 円	「伊勢春慶や」の出店事業を行った。

6 (株)三重TLOへの加入

企業と大学との交流支援に取り組み、かつ、県内の大学等の研究成果や新技術を産業界に移転する活動を積極的に推進している(株)三重TLOに継続加入し、地元企業が学術機関への技術相談、共同研究開発の橋渡しを行うとともに、産業支援センターにおける産学連携の拠点づくりの準備を進めた。

○ ものづくり支援事業

1 イベント及びPR事業

(1) 第3回 工芸講座 漆芸作品展

漆芸工芸講座は、漆芸技術の向上と人材の育成を目的に、昭和61年から行っているが、今年には講座開講20周年ということで作品展(第3回目)を開催した。漆芸作品の数々を展示し、市民の漆芸作品、伝統工芸への認識の向上に努めた。

ア 開催日 平成18年7月7日(金)～9日(日)

イ 場所 生涯学習センター いせトピア 1階 ふれあい広場

ウ 主催 第3回 工芸講座漆芸作品展実行委員会

エ 展示品 380点、ポスター・写真パネル22点

朴拭漆工芸講座看板、桜拭漆文机・楠拭漆収納テーブル、楠拭漆風呂先屏風、伊勢春慶、蒔絵、漆絵、棗、乾漆(銀平文合子)、鼈甲螺鈿アクセサリー、リサイクル製品等

オ 入場者数 3日間 1,130人

(2) 第20回「伊勢市工芸指導所と地場産業展」の開催

伊勢市及び地場産業展実行委員会が主催する展示会を開催し、主に伊勢地区で製造されている製品等を広く市民に紹介し、地域産業の認知向上と企業間交流の促進並びに工芸指導所のPRに努めた。

ア 開催日 平成18年10月28日(土)・29日(日)

イ 場所 イオン ララパーク ショッピングセンター 1階

ウ 共 催 伊勢商工会議所、伊勢市産業振興会、伊勢市家具工業振興会
伊勢市建具振興会、(財)伊勢伝統工芸保存協会
三重小型船舶工業協同組合、小俣町商工会、ISE' LL (アイセル) グループ
三重県表具組合伊勢支部

2 研究開発

(1) カーボン発熱体を用いた保温用面状発熱体の開発

面状発熱体の応用製品として、加温を必要とする特殊薬剤用保温タンクに使用する面状発熱体の開発を行い、工場内現場タンクに組み入れ、その効果の検証を行った。また電気用品安全法の経過措置解除に伴い、安全性の検証を行った。

(2) 透明樹脂中空成形に関する研究

透明樹脂中空成形技術（立体手形）については、特許を取得したため報道機関への発表を行い技術の紹介と製品のPRに努めた。また、引き続き商品化に向けての応用研究を行った。

(3) 漆の塗装に関する研究

伊勢春慶製品については、塗工程における品質の向上、コストダウン等に努め、受注、生産体制を確立し、市内の業者から多くの注文を受けるに至った。また、お木曳車の車輪の塗り直し依頼に応えるため、春慶塗師への技術指導を行い、その技術向上を支援した。

3 受託試験

(1) 各種材料試験

材料・製品等の強度試験、特にFRP新造船の材料試験（船舶安全法により、FRP特殊基準が定められており、12m以上のFRP新造船は、日本海事協会（NK）検定承認を受けた試験機による検査が義務付けられている。）およびFRP複合材料、鋼材の強度試験等の各種材料試験を行った。

試験件数 11 件

(2) 河川・海域水質調査、事業所排水分析

環境保全対策の一環として、環境政策課の河川・海域の水質調査に協力した。

都市整備課の依頼による排水路水の分析を行い、EM菌放流効果についての水質変化の確認を行った。

検査依頼件数 2 件（内訳 都市整備課 2 件）

(3) 作業環境測定

有機溶剤関係の作業環境測定指定測定機関（厚生労働大臣指定）として、企業からの依頼による作業環境測定を行った。また、より良い作業環境を確保するため、併せて環境設備についてアドバイスを行った。

測定依頼件数 4 件

4 講習会・講座等の開催

(1) 伊勢春慶体験講習会

市民を対象とした弁当箱の漆塗りの教室を開催し、伊勢春慶塗技術並びに製品に対する知識を広めた。

- ア 開催年月日 平成 18 年 7 月 12 日（水）～8 月 9 日（水）の期間における
毎週水曜日（13：30～） 全 5 回
- イ 開催場所 工芸指導所 会議室、塗装室
- ウ 講師 伊勢春慶塗師 森 勇三
- エ 受講者数 6 人

(2) 漆芸技術講習会

漆芸技術の向上と人材の育成を目的として漆芸講座を開催し、蒔絵・拭漆・伊勢春慶・彩漆・乾漆等の技法に取り組んだ。（昭和 61 年 5 月から開催）

- ア 開催日 毎週 1 回程度
- イ 講座回数 55 回
- ウ 開催場所 工芸指導所 会議室・塗装室、サンライフ伊勢 2 階研修室
- エ 講師 木村 美登
- オ 受講者数 延べ 358 人

(3) ものづくり大学技術講座

大学の持つ優れた技術を紹介する講演会を開催し、技術シーズ(種)を市内企業と結びつける機会を提供し、地場産業の技術力向上のきっかけづくりを行った。

- ア 開催日 平成 18 年 11 月 10 日（金）
- イ 開催場所 伊勢商工会議所 4 階 中ホール
- ウ テーマ 廃プラ(廃 F R P)の溶解技術とリサイクル化について
- エ 講師 静岡県立大学 環境科学研究所 環境政策室
助教授 佐野 慶一郎
- オ 受講者数 17 人

5 生産技術等の向上支援

新製品開発、木材加工、接着技術、F R P・樹脂成形技術、漆工芸技術の向上等について、技術相談・実地指導を行い、企業の技術力の向上を図るための支援を行った。

支援の内容	件数又は人数
技術相談	265 件
実地指導	54 件
機械設備利用	15 件
来所者	1,264 人

6 研究会等の開催

伊勢市家具工業振興会、伊勢市建具振興会、伊勢の匠会等の月例技術研究会を随時開催し、技術情報の提供、研究課題の解決等を行うとともに、企業間の交流を促進した。

○ 工芸指導所施設管理事業

1 工芸指導所運営協議会の開催

中小企業のニーズを踏まえた工芸指導所の円滑な運営を図るため、市内の産業団体の関係者等から構成される工芸指導所運営協議会を開催し、業務の実施に関する事項等について協議を行った。（伊勢市工芸指導所運営協議会規程）

ア 開催日 平成 18 年 7 月 25 日（火）

イ 協議内容

- ・工芸指導所廃止の経過について
- ・産業支援センター設立の取り組みについて

2 工芸指導所の施設撤去と事務所移転

桧尻川の河川改修に伴い、一之木 5 丁目にあった工芸指導所の施設撤去を行うとともに、事務所を伊勢広域環境組合クリーンセンター内へ移転した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着手	完了
一之木 5 丁目 地 内	(注) 工芸指導所解体工事	本館解体工事 一式 作業棟解体工事一式 外構ほか撤去工事 一式	円 8,793,750	18.12.28	19.3.9

(注) 建築住宅課施行

農 林 課

○ 農業関係

1 農林業者戸数

(1) 農家戸数

区 分		専 業	第一種兼業	第二種兼業	計
2000 年	伊勢市	186 戸	163 戸	2,004 戸	2,353 戸
	二見町	13	9	186	208
	小俣町	54	54	276	384
	御菌村	27	37	247	311
	計	280	263	2,713	3,256
2005 年		313	233	2,556	3,102

(農林業センサス)

(2) 農家林家・非農家林家戸数

区 分		農家林家	非農家林家	計
2000 年	伊勢市	160 戸	231 戸	391 戸
	二見町	24	25	49
	小俣町	2	22	24
	御菌村	0	5	5
	計	186	283	469

(農林業センサス)

2 農地面積

		田	畑	樹 園 地	総 面 積
2000 年	伊勢市	1,552.94 ha	121.94 ha	36.63 ha	1,711.51 ha
	二見町	80.69	19.85	1.11	101.65
	小俣町	379.05	40.12	7.41	426.58
	御菌村	146.97	51.55	2.76	201.28
	計	2,159.65	233.46	47.91	2,441.02
2005 年		2,020.31	175.81	92.19	2,288.31

(農林業センサス)

3 地産地消推進事業の実施

地産地消の普及啓発のための、地元食材使用の料理講習会について、外部団体（伊勢市中央生活学校、伊勢市食生活改善推進協議会、伊勢農業協同組合）に委託し、開催した。更に、学校給食記念日において地元農産物を使用し、地産地消のPRを図った。

事業費 974,669 円（市 974,669 円）

(1) 料理講習会

主 催	開催日	料 理 内 容	参加者数	場 所
伊勢市中央生活学校	18. 10. 4	栗とさつまいもごはん等	25名	伊勢市生涯学習センター
伊勢市食生活改善推進協議会	19. 2. 3	巻き寿司等	24名	小俣町環境改善センター
伊勢市食生活改善推進協議会	19. 2. 10	ラップ巻き寿司等	25名	伊勢市健康福祉センター
伊勢市食生活改善推進協議会	19. 2. 17	ご飯ハンバーグ等	20名	ハートプラザみその
伊勢市食生活改善推進協議会	19. 2. 24	飾りのり巻き寿司等	20名	伊勢市二見公民館
伊勢農業協同組合	19. 3. 12	カツオの手こね寿司等	20名	J A伊勢 城田支店

(2) 地産地消推進イベント

昨年度に続き3回目の「地産地消推進イベント」を「伊勢市の食と農を考える会」を母体とした実行委員会の主催で開催し、地産地消と地元農産物のPRを行い、市民の間に地産地消の大切さの浸透を図った。

18. 8. 4 地産地消推進イベント実行委員会設立

18. 11. 19 地産地消推進イベント開催

開催場所：しんみち商店街空き店舗と周辺アーケード

来場者数：3,050人

(3) 伊勢市の食と農を考える会経費

農業の生産者、消費者、農産物の流通・加工・販売関係者と行政とが、地産地消の推進をはじめ、食の安全と安心の確保を含めた伊勢市の農業が抱える課題やその対応策を検討するための場として、平成14年11月に「伊勢市の食と農を考える会」を設立した。

平成18年度においては、食育の推進及び資源循環型農業について等をテーマとして、8回にわたって会議を開催した。

4 生産調整推進対策事業

新食糧法のもとで米穀の需給と価格の安定を図るため、生産者団体と一体となって生産調整を推進した。

生産調整を確実に実施するためには、それぞれの地域や集落の事情に精通している生産調整推進対策協議会の積極的な活動が必要であることから、協議会を通じて各支部、集落及び農協に事務を委託し、事業を推進した。

また、公正な作付等の面積配分と生産調整実施水田の確認事務は、公正適確さが要求されるため、農協等の関係団体の協力はもちろん、特に地元集落推進員の協力が不可欠なことから、兼業農家が増加する中、協力者の確保を図り、現場確認事務を推進した。

事業費 12,818,883円（県補助 3,239,000円）

5 農業振興事業

(1) 営農指導対策事業

農村の振興、農業の持続的発展のため、農協各営農部会活動を支援し、地域農業の活性化を図った。

事業名	事業費	補助金額（市費）
農政対策事業	10,003,000円	1,800,000円

(2) 蓮台寺柿保存育成事業

市の天然記念物として親しまれている蓮台寺柿の宅地開発等による減産傾向に歯止めをかけるため、保存育成を推進し、栽培農家の振興と経営の安定を図った。

交付先 蓮台寺柿保存育成研究会

補助対象事業 共同防除その他事業

事業費 373,000円（市 45,000円）

6 若い農業者育成確保推進事業

次代の担い手育成確保に資するため、小学生を対象とした稲刈り等を体験する農業体験学習会を実施した。

また、就農候補者である農業高校生徒を対象とした就農候補者研修会を開催し、地域農業に対する関心を深めた。

事業費 553,490円（市 553,146円）

主な事業内容

事業名	実施日	対象	参加人数
農業体験学習会	18. 4. 24	四郷小学校5年生	30人
	18. 5. 1	城田小学校2年生	67
	18. 5. 9	東大淀小学校5年生	26
	18. 5. 9	城田小学校2年生	67
	18. 6. 2	豊浜西小学校6年生・2年生	86
	18. 6. 19	城田小学校2年生	67
	18. 9. 4	四郷小学校5年生	30
	18. 9. 14	東大淀小学校5年生	24
	18. 10. 18	城田小学校2年生	67
	18. 10. 30	豊浜西小学校6年生・2年生	86
18. 12. 12	東大淀小学校5年生・3年生	43	

	19. 2. 23	城田小学校 2 年生	66
認定農業者研修	19. 2. 9	認定農業者等	44
就農候補者研修会	19. 2. 16	明野高校生徒	16
計	14 回	—	719

過去 3 年間の新規就農者

平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
2 人	2 人	2 人

7 農業関係制度資金の活用

(1) 農業経営改善関係資金

(ア) 農業近代化資金

近代的でより生産性の高い農業経営実現のために必要な資金を、国・県等の利子補給により低利に融資する制度で、本年度の実績は次のとおりであった。

借入件数 20 件

借入総額 80,686,000 円

資金使途 カーテン工事、ネギ洗浄機一式、乾燥機及び穀物搬送機、ネギ洗浄用ポンプ
タマネギ移植機、点滴溶液栽培工事、カーテン改修工事、電気工事、バラ苗、
農業機械取得、ミニロールベアラー購入、暖房機

(イ) 農業経営基盤強化資金（スーパー L 資金）

借入件数 1 件

借入総額 36,000,000 円

(2) 利子補給補助事業

農業者等が活用できる制度資金である農業近代化資金の借入れに際し、発生する利子の一部を助成し、農業経営の安定を図った。

(ア) 農業近代化資金

上半期 借入件数 51 件

借入残高 131,427,000 円

利子補給実績 356,255 円（市 356,255 円）

下半期 借入件数 59 件

借入残高 155,518,000 円

利子補給実績 335,579 円（市 335,579 円）

(イ) 農業経営基盤強化資金（スーパー L 資金）

借入件数 1 件

借入残高 21,705,572 円

利子補給実績 108,527 円（県 54,263 円 市 54,264 円）

8 農業経営基盤強化促進事業

(1) 経営改善支援事業

優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、この改善計画の支援を進めた。

認定農業者件数 95 件（平成 19 年 3 月末現在）

(2) 農地流動化地域総合推進事業

効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、関係機関・団体が農地の流動化に関する情報を共有し、連携して認定農業者等の育成すべき農業経営への農地の利用集積を進めた。

○農業経営基盤強化促進法に基づく利用権等設定面積

区 分	件数	面 積		
		田	畑	計
利用権設定（累積）	565 件	m ² 1,922,455.78	m ² 164,783.20	m ² 2,087,238.98
H18.4～H19.3実績				
設 定	246	631,526.37	40,157.00	671,683.37
中途解約	41 (部分解約 12)	82,782.41	1,664.00	84,446.41
期限切れ	137	285,812.37	22,980.00	308,792.37
所有権移転	4	4,280	981	5,261

(3) 遊休農地調査事業

「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に遊休農地の農業上の利用の増進に関する事項として遊休農地の特定及び図面化を行う必要があるため、遊休農地の場所を特定できる図面及びデータを作成し、業務支援を行った。

事業費：2,094,944 円（国：1,003,000 円、市：1,091,944 円）

交付金：元気な地域づくり交付金

9 親子農業体験事業

担い手の不足と若者の農業離れが深刻化し、就農の促進や農業後継者の育成が重要となっているため、農業体験を開催し、講師を明野高校生徒がすることにより、生徒が「伝える」ことを通じて農業への理解を深め、就農について考えるきっかけとし、若者の就農促進の一助とした。

また、受講対象を小学生とその保護者とすることにより、自然の恩恵や「食」に関わる人々の活動、「食」の重要性について、家庭で話し合う機会をつくった。

事業費 238,000 円（市 238,000 円）

主な事業内容

	開催日	内容	受講者	開催場所
第1回	18. 9.23	・イチゴ定植	32人	明野高校
第2回	18.11.25	・イチゴ管理 (ランナー除去) ・花の寄せ植え	32	
第3回	19. 1.20	・イチゴ収穫 ・ジャム作り ・試食	34	

10 遊休農地活用事業

自治会、ボランティア等により遊休農地へ農作物、景観作物等の種を蒔き、地域農業の振興や美しい景観をつくることを進め、地域農業の活性化や農村環境（景観）の保全につなげ、遊休農地の活用を図った。

事業費：2,361,334円（国：1,180,000円、市：1,181,334円）

交付金：元気な地域づくり交付金

11 農業やってみませんか事業

農業の担い手不足が深刻になる中で、今後の農業振興・農村の活性化を図るためには、より多くの意欲ある人材の発掘が必要である。このため、定年退職者等で野菜作りに興味がある方が、セミナー及び農業技術習得講座を通して野菜栽培への理解を深めるための一助とした。

事業費 20,000円（市 20,000円）

主な事業内容

	開催日	内容	受講者	開催場所
セミナー	18.12. 9	・伊勢市の農業について概要説明 伊勢市農林課 ・伊勢志摩地域の農業の現状について 伊勢志摩地域農業改良普及センター ・畑の土づくり、野菜の育て方について 伊勢志摩地域農業改良普及センター	35人	伊勢市役所 会議室
第1回 実習	18.12.16	・大根の収穫とはさがけ作業体験 講師 市内農業者	8	講師ほ場
第2回 実習	19. 1.21	・実習ほ場見学、人参等の収穫体験 ・野菜づくり、土づくりに関する座談会 講師 市内農業者	15	講師ほ場 豊浜地区 コミュニティ センター

12 産直市支援事業

産直市施設の確保により、新鮮で安全な農作物を消費者に提供し、地産地消の推進を図り、さらに消費者との交流による中心市街地の活性化と地域農業の振興へ繋げるため、中心市街地に産直市施設を設立し、農業団体等による地元農産物の販売を支援した。

事業費：2,791,955円

○ 畜産関係

1 畜産飼養頭羽数

種類	平成 18 年度			
	肉用牛	乳 牛	肉 豚	採卵鶏
頭羽数 (頭羽)	532	26	1,600	30,700
戸数 (戸)	6	2	2	6

2 各種防疫

家畜伝染病予防法に基づき、市内の酪農家（2戸）を対象に予防接種を行った。

区 分	実施年月日	実施地域	対 象
結核病・ブルセラ病・ヨーネ病	18. 6. 1	伊勢市全域	乳牛

3 松阪食肉公社運営事業

食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、伊勢市を含む主要株主により支援を行っている。

事業主体 三重県松阪食肉公社

補助金 3,675,000 円

○ 土地改良事業

1 市単土地改良事業

(1) 農道舗装事業

道路幅員等において、国・県の補助事業として採択基準に合致しない農道整備について、舗装工事等を施行し、農道の機能を保持するとともに、交通の安全と円滑な通行の確保に努めた。

工事請負費

施行場所	工 事 名	工事概要	金額(円)	着 工	完 工
佐 八 町内 地	農道舗装（その1）工事	L = 120 ^m	924,000 ^円	18.10.25	18.11.6
植 山 町内 地	農道舗装（その2）工事	L = 266	2,386,650	18.12.19	19.2.6
村 松 町内 地	農道舗装（その3）工事	L = 103	882,000	18.11.7	19.1.5
神 菌 町内 地	農道舗装（その4）工事	L = 155	1,134,000	18.10.25	18.12.1
東 大 淀 町内 地	農道舗装（その5）工事	L = 119	840,000	18.10.3	18.11.10

上野町内 地	農道舗装（その6）工事	L = 383 m	3,052,350 円	18.10.31	18.12.28
円座町内 地	農道整備工事	L = 39	2,835,000	18.10.11	18.12.27
計	7 件	—	12,054,000	—	—

(2) 農業用排水路整備事業

国・県の補助事業として採択基準に合致しない、老朽化による水路の損傷及び生活排水の流入により排水能力が低くなった排水路の整備を行うことにより、排水機能回復と環境整備を図った。

工事請負費

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
柏地町内	農業排水路（その1）工事	L = 167 m	3,360,000 円	18.11.21	19. 2. 2
津地村町内	農業排水路（その2）工事	L = 266	8,529,150	18.12.28	19. 3.15
計	2 件	—	11,889,150	—	—

(3) 維持補修

農道及び農業用排水路の機能を保持するため、小修繕工事や草刈業務委託、重機借上・原材料支給を行い、農村環境・農業基盤の整備を図った。

ア) 小修繕工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
神社港内 地	馬瀬川維持補修工事	L = 81.0 m	472,500 円	19. 3. 5	19. 3.15
佐八町内 地	農道修繕工事	L = 12.0	577,500	19. 3.16	19. 3.28
鹿海町内 地	農業用排水路修繕工事	L = 3.0	75,600	19. 3.26	19. 3.26
計	3 件	—	1,125,600	—	—

イ) 草刈業務委託

施行場所	委託名	金額
神社港内	馬瀬川除草業務委託	20,000 円
栗野町内	菱川除草業務委託	35,000
〃	菱川除草（その2）業務委託	45,000
計	3 件	100,000

ウ) 重機借上・原材料支給

	施 行 場 所	金 額
重 機 借 上	東豊浜町地内 ほか7件	円 1,567,860
原 材 料 支 給	神菌町地内 ほか8件	483,976

2 土地改良事業補助

農業経営の安定に資するため、土地改良事業を補助し、事業の円滑な推進及び農業農村の基盤整備を図った。

(1) 県営事業負担金

事 業 名	工事概要	事 業 費	市 負 担
県営かんがい排水事業 宮川2工区	測量設計一式 用水路L=500m	円 120,750,000	円 2,119,104
県営かんがい排水事業 宮川4工区	測量設計一式	47,250,000	5,527,000
経営体育成基盤整備事業 有田地区	幹線用水路L=700m 支線用水路L=377m	165,900,000	2,323,427
県営ふるさと農道整備事業 松下地区	路体工一式	166,650,000	58,575,000
県営ふるさと農道整備事業 御菌地区	事業認定作成資料委 託業務一式	21,210,000	7,455,000
県営湛水防除事業 小川地区	家屋補償 2件	1,638,000	245,000
計	6件	523,398,000	76,244,531

(2) 補助金

ア 土地改良区等が実施した事業に対して市の基準による補助金を交付した。

(市補助額欄の(注)印は、償還金に対する補助金額)

補助金支出先	施行 年度	事 業 名	事 業 概 要	事 業 費	市補助額
宮川用水 土地改良区	61	県営土地改良施設整備 事業 宮川・下外城田地区	用水路工事 L=622.0m	円 45,580,000	円
〃	62	県営土地改良施設整備 事業 宮川・下外城田地区	用水路工事 L=834.0m	74,200,000	
〃	63	県営土地改良施設整備 事業 宮川・下外城田地区	用水路工事 L=732.0m	75,260,000	
〃	元	県営土地改良施設整備 事業 宮川・下外城田地区	用水路工事 L=1,396.54m	74,106,000	

宮川用水 土地改良区	2	県営土地改良施設整備 事業 宮川・下外城田地区	用水路工事 L = 33.5m	円 13,780,000	(注) 3,418,000	
〃	62	県営土地改良施設整備 事業 宮川・明野・ 東豊浜地区	用水路工事 L = 450.0m	47,700,000		
〃	63	県営土地改良施設整備 事業 宮川・明野・ 東豊浜地区	用水路工事 L = 731.0m	53,000,000		
〃	元	県営土地改良施設整備 事業 宮川・明野・ 東豊浜地区	用水路工事 L = 208.3m	52,934,000		
〃	2	県営土地改良施設整備 事業 宮川・明野・ 東豊浜地区	用水路工事 L = 351.53m	79,500,000		
〃	3	県営土地改良施設整備 事業 宮川・明野・ 東豊浜地区	用水路工事 L = 650.72m	79,500,000		
〃	元	県営土地改良施設整備 事業 宮川・城田・ 西豊浜地区	用水路工事 L = 80.0m	31,760,000		
〃	2	県営土地改良施設整備 事業 宮川・城田・ 西豊浜地区	用水路工事 L = 117.28m	40,280,000		
〃	3	県営土地改良施設整備 事業 宮川・城田・ 西豊浜地区	用水路工事 L = 410.77m	42,400,000		
〃	62	県営土地改良施設整備 事業 宮川・御菌地区	用水路工事 L = 219.6m	25,300,000		
〃	63	県営土地改良施設整備 事業 宮川・御菌地区	用水路工事 L = 132.1m	20,240,000		
〃	18	土地改良施設維持管理 適正化事業 (26・28期生)	揚水機場整備補 修工事 一式	12,000,000		824,600
〃	18	土地改良施設維持管理 適正化事業 (27期生)	用水路補修工事 一式	7,000,000		138,200
〃	18	土地改良施設維持管理 適正化事業 (29期生)	用水路補修工事 一式	6,000,000	730,200	

宮川用水 土地改良区	18	土地改良施設維持管理 適正化事業 (30期生)	用水路補修工事 一式	円 5,000,000	円 861,800
〃	18	県営かんがい排水事業 (宮川4工区その2地区) 計画書作成業務	計画書作成 一式	11,019,750	2,822,800
伊勢北部 土地改良区	6	県営ほ場整備事業 伊勢北部地区	整地工 A = 10.0ha	258,432,000	(注) 1,768,177
〃	7	県営ほ場整備事業 伊勢北部地区	整地工 A = 10.4ha 排水機 一式	540,658,000	(注) 3,522,418
〃	8	県営ほ場整備事業 伊勢北部地区	整地工 A = 4.6ha	179,156,000	(注) 2,097,651
〃	9	県営ほ場整備事業 伊勢北部地区	整地工 A = 15.8ha	211,000,000	(注) 2,384,432
〃	10	県営ほ場整備事業 伊勢北部地区	整地工 A = 10.0ha	134,356,000	(注) 1,389,459
〃	11	県営ほ場整備事業 伊勢北部地区	舗装工 一式	46,200,000	(注) 479,320
〃	12	県営ほ場整備事業 伊勢北部地区	確測 一式	26,250,000	(注) 280,344
〃	13	県営ほ場整備事業 伊勢北部地区	換地・確測 一式	21,420,000	(注) 223,726
〃	14	県営ほ場整備事業 伊勢北部地区	区画整理一式	25,200,000	(注) 258,904
〃	15	県営ほ場整備事業 伊勢北部地区	区画整理一式	42,000,000	(注) 416,351
有滝 土地改良区	61	非補助土地改良事業 有滝地区	農道舗装 L = 3964.9m	24,283,000	(注) 1,919,404
豊浜 土地改良区	5	団体営土地改良総合 整備事業 (他事業関連) 豊浜地区	用水施設整備 L = 5,448.1m	138,016,000	(注) 2,267,736
〃	6	団体営土地改良総合 整備事業 (他事業関連) 豊浜地区	用水路工 L = 1,664.6m	38,456,000	(注) 631,879
〃	7	団体営土地改良総合 整備事業 (他事業関連) 豊浜地区	用水路工 L = 5,547.6m 農道整備 L = 2,634.5m	143,096,000	(注) 2,187,050

豊 浜 土地改良区	8	団体営土地改良総合 整備事業 (他事業関連) 豊浜地区	排水路工 L = 3,267.0m 農道整備 L = 143.0m	円 49,688,000	円 (注) 1,463,462
〃	6	団体営土地改良総合 整備事業 (土地総) 森地区	用水路工 L = 1,132.0m	30,360,000	(注) 498,852
〃	7	団体営土地改良総合 整備事業 (土地総) 森地区	用排水路工 L = 1,847.0m 水中ポンプ 2箇所	82,172,000	(注) 1,945,680
〃	7 繰越	団体営土地改良総合 整備事業 (土地総) 森地区	用排水路工 L = 2,284.3m	40,886,000	(注) 1,204,224
〃	8	団体営土地改良総合 整備事業 (土地総) 森地区	排水路工 L = 2,752.0m	60,720,000	(注) 1,788,393
〃	8 繰越	団体営土地改良総合 整備事業 (土地総) 森地区	排水路工 L = 225.5m 農道整備 L = 832.4m	20,240,000	(注) 557,749
〃	9	団体営土地改良総合 整備事業 (土地総) 森地区	農道整備 L = 729.5m	14,370,000	(注) 395,989
〃	7	団体営土地改良総合 整備事業 (土地総) 小川地区	用水路工 L = 1,532.7m	74,584,000	(注) 1,637,693
〃	7 繰越	団体営土地改良総合 整備事業 (土地総) 小川地区	揚水機場 1箇所	41,188,000	(注) 1,213,113
〃	8	団体営土地改良総合 整備事業 (土地総) 小川地区	用水路工 L = 1,850.0m	72,762,000	(注) 2,143,065
〃	8 繰越	団体営土地改良総合 整備事業 (土地総) 小川地区	用水路工 L = 628.0m	30,360,000	(注) 836,623
〃	9	団体営土地改良総合 整備事業 (土地総) 小川地区	用水路工 L = 2,191.0m	72,256,000	(注) 1,991,140
〃	9 繰越	団体営土地改良総合 整備事業 (土地総) 小川地区	用水路工 L = 608.0m	20,240,000	(注) 520,787

豊 浜 土地改良区	10	団体営土地改良総合 整備事業 (土地総) 小川地区	用水路工 L = 1,877.0m 排水路工 L = 1,715.0m	円 80,818,000	円 (注) 1,622,263
〃	10 繰越	団体営土地改良総合 整備事業 (土地総) 小川地区	排水路工 L = 3,083.0m	56,068,000	(注) 1,731,461
〃	11	団体営土地改良総合 整備事業 (土地総) 小川地区	排水路工 L = 1,425.0m	25,256,000	
〃	8	県単土地基盤整備事業 磯地区	排水路工事 L = 170.0m	5,000,000	(注) 346,328
〃	9	県単土地基盤整備事業 磯地区	排水路工事 L = 465.3m	8,000,000	(注) 534,367
〃	10	県単土地基盤整備事業 磯地区	排水路工事 L = 390.5m	7,000,000	(注) 450,611
〃	11	県単土地基盤整備事業 磯地区	排水路工事 L = 352.3m	7,000,000	(注) 465,128
〃	13	基盤整備促進事業 大方後地区	用水路工事 L = 660m	18,184,000	(注) 379,688
〃	14	基盤整備促進事業 大方後地区	用排水路工事 一式	12,124,000	(注) 307,391
〃	15	基盤整備促進事業 大方後地区	用排水路工事 一式	7,578,000	(注) 199,651
朝 熊 土地改良区	4	団体営土地改良総合整 備事業(小規模排水) 名古屋砂地区	用排水施設整備 L = 2,410.0m 区画整理 A = 6.0ha	169,004,000	(注) 2,828,970
伊 勢 南 部 土地改良区	9	団体営農道整備事業 天白地区	農道舗装工事 L = 1,193.9m	19,228,000	(注) 969,586
伊 勢 北 部 土地改良区	5	県営ほ場整備事業 伊勢北部地区	整地工 A = 7.9ha	118,126,000	(注) 685,141
五十鈴川用水 土地改良区	18	頭首工維持管理費 木出頭首工	電気料金ほか	398,270	398,270
伊 勢 南 部 土地改良区	18	農業用用水路修繕事業	用水路修繕工事 L = 70.0m	200,000	36,000
東 大 淀 土地改良区	18	県単土地基盤整備事業 (小規模土地改良事業)	さく井工事 揚水機据付工 一式	13,300,000	2,225,520
三津土地改良 共同施行	18	三津揚水ポンプ修繕事 業	揚水機修繕工事 一式	147,000	44,000
宮川左岸第一 土地改良区	16	経営体育成基盤整備事 業(有田地区) 計画書作成事業	計画書作成 一式	18,795,000	1,263,817

小 俣 町 土 地 改 良 区	18	土地改良事業	用水路整備工事 一式	円 5,999,700	円 2,999,850
上 條 水 利 組 合	18	農業用用水管補修事業	用水管補修工事 一式	283,500	94,500
宮川右岸御 土 地 改 良 区	17	県営かんがい排水事業 (水管理改良型) 計画書作成事業	計画書作成 一式	2,240,700	746,900
計	—	68 件	—	3,809,658,920	63,148,663

イ 国営造成施設管理体制整備強化支援事業

国営で造成した土地改良施設に対する国の助成制度で、施設の持つ多面的機能の発揮及び環境や安全に配慮した管理体制の高度化を図った。

管理体制整備強化支援事業 3,984,000 円

(国 50% 1,992,000 円 県 25% 986,000 円 市 25% 1,006,000 円)

ウ 農地・水・農村環境保全向上対策実験事業

農地・農業用水路等の資源を地域ぐるみの共同活動で保全向上させる活動を、国・県・市が助成する事業で、19年度からの本格実施に向け、モデル地区による実験事業を行った。

三重県内 7 地区 伊勢市内 1 地区(村松地区)

村松地区 実施面積 45.4ha

交付金 1,997,000 円 (国 50% 県 25% 市 25% 499,000 円)

3 受託事業

県単土地基盤整備事業として採択された東大淀土地改良区が実施する揚水機設置工事を市が受託施行し、農業生産基盤の整備を図った。

(1) 工事請負費

県単土地基盤整備事業

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
村 松 町 地 内	農業用施設整備 (さく井) 工事	さく井工 一式	円 6,930,000	18.12.8	19.3.26
〃	農業用施設整備 (揚水機据 付) 工事	揚水機据付工 1 基	6,197,100	18.12.8	19.3.26
計	2 件	—	13,127,100	—	—

○ 施設管理

1 樋門の維持管理

流域への湛水による被害を未然に防止するため、樋門の機能を保持し、安全管理を図った。

(1) 三重県県土整備部所管

樋門名	所在地	委託先	ゲート型式、門数	管理委託料
東伊阿良	有滝町 東伊阿良	有滝町会長	前招扉 2 後巻揚扉 1	円 20,600
土路西条 4号	西豊浜町	上区区长	前招扉 1 後巻揚扉 1	16,500
土路西条 5号	磯町	磯町区长	前招扉 1 後巻揚扉 1	16,500
矢田川	楠部町 大	楠部町自治会長	前ローラ ー 2	20,600
宮沼	津村町	津村町区长	前ローラ ー 1	16,500
津村	〃	〃	前マイター 1 後巻揚扉 1	16,500
計	6樋門	—	—	107,200

(2) 市所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	ゲート型式、門数	管理委託料
満城	磯満町 満城	磯町区长	前招扉 2 後巻揚扉 2	円 20,600
磯	磯町 クギヌキ	〃	前招扉 1 ー	16,500
堀の内	西豊浜町 堀の内	森区自治会区长	前招扉 1 後巻揚扉 1	16,500
中島	西豊浜町 中島	小川区区长	前招扉 1 後巻揚扉 1	16,500
郷垣外	西豊浜町 郷垣外	〃	前招扉 1 後巻揚扉 1	14,450
中坪井	東豊浜町 中坪井	〃	前招扉 1 後巻揚扉 1	16,500
下坪井	東豊浜町 小西浦	西条町会長	前招扉 1 後巻揚扉 1	16,500
浜	東豊浜町 浜	〃	前招扉 1 後巻揚扉 1	16,500
西浦	東豊浜町 西浦	〃	前招扉 1 後巻揚扉 1	16,500
一本松	檜原町 新田	檜原町会長	前招扉 1 後巻揚扉 1	16,500
枯木州	檜原町 新田	檜原町会長	前招扉 1 後巻揚扉 1	16,500
地藏池	村松町 今切	有滝町会長	前招扉 1 後巻揚扉 1	14,450

南 挟 間	村 松 町 南 挟 間 東 詰	有 滝 町 会 長	前 招 扉 —	1	円 14,450
西 の 小 端 第 一	村 松 町 川 端	”	前 招 扉 —	1	14,450
西 曾	有 滝 町 西 曾	豊 浜 土 地 改 良 区 理 事 長	前 招 扉 後 卷 揚 扉	1 1	17,600
旧 汐 田	東 大 淀 町 汐 田	東 大 淀 町 会 長	前 招 扉 後 卷 揚 扉	2 2	17,600
明 野	東 大 淀 町 明 野	”	前 招 扉 後 卷 揚 扉	1 1	15,000
東 勘 坊	柏 東 町 勘 坊	柏 町 会 長	前 招 扉 —	2	17,600
高 田	馬 瀬 町 高 田	馬 瀬 町 内 会 長	— 後 卷 揚 扉	1	8,750
明 神	大 湊 町 明 神	大 湊 町 振 興 会 長	前 招 扉 —	1	16,500
大 切 戸	一 色 町 六 反 田	一 色 町 自 治 会 区 長	前 招 扉 後 卷 揚 扉	1 1	16,500
戸 部 神	一 色 町 中 川	”	前 招 扉 後 卷 揚 扉	1 1	16,500
中 渠	楠 部 町 東 郷	楠 部 町 自 治 会 長	— 後 卷 揚 扉	2	17,600
小 畑	中 村 町	”	— 後 卷 揚 扉	1	15,000
八 郎 兵 衛	鹿 海 町 八 郎 兵 衛	鹿 海 町 区 長	前 招 扉 後 卷 揚 扉	2 2	20,600
西 新 田	鹿 海 町 西 新 田	”	前 招 扉 後 卷 揚 扉	1 1	16,500
西 沖	朝 熊 町 西 沖	朝 熊 町 自 治 会 長	前 招 扉 後 卷 揚 扉	1 1	16,500
保 田	朝 熊 町 保 田	”	前 招 扉 後 卷 揚 扉	1 1	16,500
立 岩	朝 熊 町 立 岩	”	前 招 扉 —	1	14,600
貝 楠 部	朝 熊 町 貝 楠 部	”	前 招 扉 —	1	16,500
亀 ケ 森	朝 熊 町 亀 ケ 森	”	前 招 扉 —	1	14,600
橋 第 二	朝 熊 町 橋	”	前 招 扉 —	1	14,600
橋	朝 熊 町 橋	”	前 招 扉 後 卷 揚 扉	1 1	16,500
浜 田	朝 熊 町 浜 田	”	前 招 扉 後 卷 揚 扉	1 1	16,500
計	34 樋 門	—	—	—	548,950

(3) 樋門小修繕

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
一色町地内	大切戸樋門スルースゲート修繕工事	扉体下部修繕一式	円 97,650	18. 6.23	18. 6.23
〃	戸部神樋門修繕工事	水密ゴム取替一式	367,500	19. 2.15	19. 3.15
計	2件	—	465,150	—	—

2 樋門改修に係る計画書作成

農地の保全はもとより地域住民の安全を守るため、老朽化が著しい一色町地内戸部神樋門の県営改修整備事業の採択申請に必要な基本計画書を作成した。

施行場所	委 託 名	金 額	着 手	完 成
一色町地内	戸部神樋門改修に伴う計画書作成業務委託	円 1,827,000	18. 5.30	19. 1.15

3 排水機場維持管理

(1) 補助金

農業用としてだけでなく、集落地域の雨水排水にも稼動している公共性の高い排水機場について電気代等の維持管理費を補助することにより、土地改良区等の負担軽減を図り、農業基盤の保全と農村地域の環境整備を図った。

排水機場名	交付先	市補助額
村松排水機場	村松土地改良区	円 651,810
野口排水機場ほか	東大淀土地改良区	118,062
有滝第2排水機場	伊勢北部土地改良区	541,119
社護神排水機場	有滝土地改良区	313,288
豊浜第2排水機場	豊浜土地改良区	43,359
計	5件	1,667,638

○ 農村総合整備統合補助事業

1 農村総合整備統合補助事業

近年の農業のおかれている状況は、農家数及び農地の減少、農産物の輸入自由化による価格の低迷と生産意欲の減退、労働力の高齢化と後継者の不在等と大変厳しいものである。こうした状況に応じて、伊勢市は平成11年3月に伊勢市農村総合整備計画書（伊勢2期地区）を策定し、農業生産基盤整備、農村環境基盤整備、農村交流基盤整備等を進めることで、優良農用地

の適正な管理、営農環境の保全及び生活環境の改善に努め、地域の活性化を図った。

(1) 農道整備事業

県営及びほ場整備等で道路整備がなされているが、道路幅員が狭いうえ経年劣化による凹凸が激しく農産物の荷傷み等、営農に支障をきたしている。本事業の実施により荷傷み防止に努め、農産物の品質向上等を図り流通経路を確保するとともに、生活道路としての機能を充実させ住みよい農村づくりを進めた。

ア 工事請負費

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
西豊浜町地内	農道1号工事	L=310 m	円 9,338,700	18.12.22	19.3.15

イ 業務委託料

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
西豊浜町地内	農道1号工事に伴う測量調査業務委託	A=840 m ²	円 136,500	18.9.22	18.10.20

ウ 用地買収

施行場所	工事名	地権者数	筆数	面積	金額
西豊浜町地内	農道1号工事	7 人	9 筆	298.55 m ²	円 1,654,445

エ 支障物件補償

施行場所	工事名	補償人数	補償項目	金額
西豊浜町地内	農道1号工事	1 人	電柱撤去・移設	円 881,700

(2) 集落道路整備事業

本地区の集落道は幅員狭小のため、農作物・生産資材等の搬入搬出、農業車両・緊急自動車等の通行に支障を来しており、農業集落道路として十分な機能を発揮していない。そこで集落道を整備することにより農業生産性の向上を図るとともに、車両の通行を容易にし、快適な道路としての充実に努めた。

ア 工事請負費

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
村松町地内	集道13号工事	L=636.4 m	(注1) 円 46,192,650	17.9.30	18.5.31

村地	松町内	集道13号(舗装)工事	L=636.4	(注1) 円 17,038,350	17.12.2	18.6.15
	〃	集道13号工事	L=467.2	30,399,600	18.9.8	19.3.26
	〃	集道13号(舗装)工事	L=467.2	(注2) 8,085,000	18.9.8	19.5.15
上地町	地内ほか	集道6号ほか工事	L=1,566.2	125,951,700	18.9.15	19.3.26
	〃	集道6号ほか(舗装)工事	L=1,566.2	36,747,900	18.9.15	19.3.26
	計	6件	—	264,415,200	—	—

(注1)平成17年度から一部繰越

(注2)平成19年度へ一部繰越

イ 支障物件補償

施行場所	工事名	補償人数	補償項目	金額
上地町	集道6号ほか工事	1人	電柱撤去・移設	円 578,400
	〃	1	水道配水管移設	6,822,215
	計	2	—	7,400,615

(3) 集落防災安全施設整備事業

農村部における火災時には、消防団員の初期消火が第一の決め手となっているが、点在する農家に対しての防火水槽の数が不足しているため、防火水槽を新たに設置することで非常時に対応できる水量を確保し、地域住民の安全確保に努めた。

ア 工事請負費

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東豊浜町	防災9号工事	40m ³ 1基	(注) 円 6,796,650	18.3.31	18.6.28
鹿海町	防災12号(舗装)工事	A=238 m ²	829,500	18.9.22	18.11.30
磯地町	防災5号工事	40m ³ 1基	6,229,650	18.10.27	19.1.24
	計	3件	13,855,800	—	—

(注)平成17年度債務負担行為

(4) 集落水辺環境施設整備事業

伊勢湾沿いの河口付近には多くの遊水池が存在しているが、ゴミ等が堆積し、その機能が低下

している。更に管理道もなく葦等が生い茂っているため、地域住民も近寄りやすい場所となり、維持管理にも支障をきたしている。そこで、遊水池の周辺を整備することで本来の機能を回復し保全を図るとともに、環境整備を行うことで地域住民の集う心安らぐ水辺空間を創造した。

ア 工事請負費

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東豊浜町内 地	水辺環境2号工事	施設整備工 A=11,000 m ²	(注) 円 32,141,550	18.10.27	19.6.15
西豊浜町内 地	水辺環境3号工事	施設整備工 A=1,350 m ²	12,204,150	18.10.6	19.1.23
計	2件	—	44,345,700	—	—

(注) 平成19年度へ一部繰越

(5) 集落緑化施設整備事業

水田地帯の中に改良区が所有する広場が未整備な状況である。そこで休憩施設の整備と環境整備を行い、施設完了後、地域住民がみずから美化運動の取り組める場を提供した。

ア 工事請負費

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
上地町内 地	集落緑化2号工事	東屋 1基 柵工 L=92.9m	(注) 円 7,288,050	18.3.31	18.7.28

(注) 平成17年度債務負担行為

(6) 交流基盤用地整備事業

本地域は、緑豊かな自然環境に恵まれ、文化的・歴史的な施設が多く存在し、地域住民だけでなく都市住民も数多く訪れているが、その交流となる場が未整備な状況である。そこで、現在ある区所有の未整備の緑地を整備することにより、文化的・歴史的施設を訪れた人々に憩いの場を提供し、地域住民間及び都市住民との交流、やすらぎの場を提供する交流基盤整備を進めた。

ア 工事請負費

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
上野町内 地	交流基盤用地整備工事	用地・歩道整備 L=310m	円 6,678,000	18.12.28	19.3.15

(7) 景観保全整備事業

本地域には、神社、仏閣の観光資源が数多く存在しているが、神宮の知名度があまりにも高く、他の資源は活用されていない状況にあり、特に地域住民にとって歴史的な場所の保存ができていないため、案内板の整備により歴史的な場所を後世に残し、地域住民が交流できる空間を提供した。

ア 工事請負費

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
有 滝 町 地 内	景観保全1号工事	案内看板設置工 一式 舗装工A=115㎡	(注) 円 2,122,050	18.10.11	19. 1. 5

(注) 平成17年度債務負担行為分と平成18年度分を合算して支出

○ 林業関係

1 森林病虫害防除事業

海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
東 豊 浜 町 地 内 ほか	松くい虫防除事業業務委託 (地上散布)	薬剤散布 0.55ha	円 55,650	18. 6. 5	18. 6. 19
二見町今一色 地 内 ほか	松くい虫防除事業業務委託 (地上散布)	薬剤散布 19.4ha	1,366,050	18. 6. 30	18. 7. 26
村 松 町 地 内 ほか	松くい虫防除事業業務委託 (くん蒸処理 その1)	枯松伐倒駆除 42.3m ³	702,450	19. 2. 9	19. 3. 16
〃	松くい虫防除事業業務委託 (樹幹注入)	樹幹注入 263本	2,367,750	19. 2. 9	19. 3. 22
東 大 淀 町 地 内 ほか	松くい虫防除事業業務委託 (くん蒸処理 その2)	枯松伐倒駆除 3.0m ³	71,400	19. 2. 26	19. 3. 22
計	5件	—	4,563,300	—	—

2 有害鳥獣捕獲等事業

(1) 有害鳥獣駆除

農林作物等に被害を与える有害鳥獣を駆除するため、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、捕獲許可事務を行い、被害の減少に努めた。

区 分	件 数	延べ人員	捕 獲 数
神 宮 林 内	64 件	338 人	イノシシ 47 シカ 49 サル 1 頭(羽)
鳥 獣 保 護 区 内	3	6	イノシシ 8
そ の 他	62	384	イノシシ 71 シカ 46

			ドバト 28
			ハシボソカラス 33
			ハシブトガラス 11
			ムクドリ 57
			ゴイサギ 5
			キジバト 33
			スズメ 85
計	129	728	—

(2) 鳥獣飼養許可

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、メジロの飼養許可事務を適正に実施した。

交付件数 1件

手数料 3,400円

(3) 獣害防止事業

有害動物（猪・鹿・猿）による農作物被害軽減のため、狩猟家による有害動物捕獲に助成することにより、収穫量低下を防ぎ農業継続意欲の減退を抑制した。

内容 有害動物（猪・鹿・猿）の捕獲に対して助成。

猿 1頭 10,000円 猿以外 1頭 3,000円

平成18年度事業実績

件数	延べ人数	捕獲数
9件	54人	イノシシ 16 シカ 6

事業費 66,000円（市 66,000円）

3 環境保全林管理事業

市民の憩いの場である三郷山生活環境保全林及び横輪環境保全林において、清掃、草刈り等を実施し、保全林の環境維持等に努めた。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
浦口町内	三郷山生活環境保全林清掃業務委託	清掃 年16回	円 300,000	18. 4. 1	19. 3. 31
〃	三郷山草刈等（その1）業務委託	下草刈りほか 24,700㎡	750,000	18. 5. 2	18. 6. 30
〃	三郷山草刈等（その2）業務委託	下草刈り 24,700㎡	491,000	18. 9. 29	18. 11. 30
横輪町内	横輪環境保全林管理業務委託	清掃 1,940m	890,000	18. 12. 28	19. 3. 15
計	4件	—	2,431,000	—	—

4 環境保全林整備事業

市民の憩いの場である三郷山生活環境保全林において、案内板及びベンチを整備する事により、三郷山の利便性を高め、また、適正な間伐を行う事により、保全林のもつ機能の向上を図った。

ア 工事請負費

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 手	完 了
浦 口 町 地 内	三郷山看板設置工事	木製看板設置 3枚	円 1,102,500	19. 1.12	19. 3.15
〃	三郷山施設設置工事	ベンチ 5基	367,500	19. 1.29	19. 3.15
計	2件	—	1,470,000	—	—

イ 業務委託料

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
浦 口 町 地 内	三郷山間伐業務委託	間伐 A=10.0ha	円 3,936,450	19. 1.26	19. 3.28

5 林道修繕事業

排水状況が悪く、路面損傷が激しく機能が損なわれている林道において、修繕工事を行い、機能の維持・向上を図った。

ア 工事請負費

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 手	完 了
朝 熊 町 地 内	箕曲瀬林道修繕工事	L=100.0 m	円 595,350	19. 3.16	19. 3.28

6 絆の森整備事業

朝熊山麓の豊かな自然環境を適正な間伐により保全機能の向上をしつつ、朝熊山麓開発事業地全体のコンセプトである「であい・交流」を促進する場として整備し、現存施設（県営サンアリーナ、朝熊山麓公園）を補完して新たな付加価値を創造していくことにより、市民が自然と親しむ交流空間の提供を図った。

ア 工事請負費

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 手	完 了
朝 熊 町 地 内	絆の森整備工事	防火調整池 整備 1箇所 歩道整備 L=590m	(注1) 円 34,778,100	17.12. 9	18. 8.31
〃	絆の森整備建築工事	作業小屋 A=25.9 m ²	(注2) 4,112,850	18. 3.28	18. 9.22

朝熊町 地内	絆の森整備舗装工事	舗装工 A=1,612 m ²	(注2) 円 6,474,300	18. 9. 8	18.11. 1
〃	絆の森整備植栽工事	植栽工一式	(注2) 1,521,450	18. 9. 20	18.10.31
〃	絆の森整備看板設置 工事	看板設置 3基	(注2) 233,100	18.11. 2	18.11.22
計	5件	—	47,119,800	—	—

(注1) 平成17年度から一部繰越

(注2) 平成17年度から繰越

イ 業務委託料

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町 地内	絆の森整備事業森林 施業委託	森林整備 A=8.4ha	(注) 円 5,254,200	17.12. 6	18. 8.31

(注) 平成17年度から繰越

○ 辺地対策事業

1 一字郷総合整備事業

近年、横輪町・矢持町地域は過疎化が大きな問題となっているが、これらの地域の貴重な自然・歴史・文化が途絶えてしまうことのないよう「自然と共生する、平家ゆかりの郷『一字郷』」を理念とし、都市住民との交流施設の整備を行い、地域の振興を図った。

(1) 横輪地区活性化事業

ア 工事請負費

施行場所	工事名	工事概要	金額	着手	完了
横輪町 地内	横輪地区活性化事業 管理施設建設工事	木造平家建 A=88.33 m ²	(注1) 円 (注2) 33,744,900	18. 3.10	18. 9.30
〃	宮山・交流広場整備工事	A=17,536 m ²	(注2) 27,334,650	18. 3.17	18.11.20
〃	宮山・交流広場 植栽整備工事	植栽工 212本	(注2) 6,726,300	18. 3.17	18.12.28
〃	郷の恵「風輪」防犯設備 工事	シャッター取付工 2箇所 防犯カメラ設置工 2台	(注3) 703,500	19. 2.13	19. 3.15

横 輪 町 地 内	横輪・矢持案内看板 設置工事	看板設置 1基	(注3) 円 99,750	19. 1. 11	19. 2. 14
計	5件	—	68,609,100	—	—

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 平成17年度から繰越

(注3) 平成17年度から繰越

イ 業務委託料

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
横 輪 町 地 内	宮山間伐業務委託	間伐A=1.17ha	(注) 円 3,738,000	18. 3. 14	18. 7. 3
〃	横輪地区活性化事業 おせん淵測量調査業務 委託委託	A=0.44ha	847,350	18.10. 5	19. 2. 20
計	2件	—	4,585,350	—	—

(注) 平成17年度から繰越

ウ 施設管理

横輪地区活性化事業で整備した伊勢都市農山村交流促進施設について、平成19年1月1日より指定管理者制度を導入し施設の管理運営を行った。

- ・施設名 伊勢市都市農山村交流促進施設 郷の恵「風輪」
- ・指定管理者 横輪町活性化委員会
- ・平成18年度指定管理委託期間 平成19年1月1日～平成19年3月31日
- ・指定管理委託料 402,000円
- ・施設利用状況等

期間	開館日数	来客人数
19. 1. 1～19. 1. 31	19日	1,441人
19. 2. 1～19. 2. 28	17日	1,350人
19. 3. 1～19. 3. 31	17日	1,650人

(2) 矢持地区活性化事業

ア 業務委託料

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
宇治今在家町 地 内	矢持地区活性化事業 竜ヶ峠測量業務委託	L=2.7km	(注) 円 586,950	18.10. 4	18.12. 1

(注) 平成17年度から繰越

○ 他課関係依頼工事

他課から依頼があった次の工事について、その設計及び監督を行った。

所 属	施行場所	工事名	工事概要	金 額
観光事業課	川 端 町 地 内 ほ か	第 54 回全国花火大会施設 工事（Ⅰ工区）	放揚施設 一式 安全施設 一式 場内施設 一式	円 2,205,000
”	中島 2 丁目 地 内 ほ か	第 54 回全国花火大会施設 工事（Ⅱ工区）	安全施設 一式 場内施設 一式 栈敷 一式	2,626,050
”	中島 2 丁目 地 内 ほ か	第 54 回全国花火大会施設 工事（Ⅲ工区）	安全施設 一式 場内施設 一式 栈敷 一式	3,570,000
”	中島 2 丁目 地 内 ほ か	第 54 回全国花火大会電気 設備工事	拡声・電話設備・ 電灯設備 一式	1,853,250
計	4 件	—	—	10,254,300

水 産 課

1 漁業の実態

市内には海面の漁協として、明和町から旧二見町の5漁協（下御糸、大淀、東大淀、伊勢市、二見町）の合併により、平成18年4月1日に発足した伊勢湾漁業協同組合があり、内水面には宮川漁業協同組合がある。

伊勢市の漁業形態は、アサリ採貝漁業、のり養殖業、小型機船底曳網漁業を主とし、その他には刺網漁業等が営まれている。

組合員数及び漁業種類別経営体数は次のとおりで、生産状況は、貝類（アサリ等）が1,040t、魚類等が282t、くろのりは4,462万枚となっている。

(1) 組合員数

(単位：人)

区分	漁協名		平成18年度			平成17年度			
			正組合員	準組合員	計	正組合員	準組合員	計	
海面	伊勢湾漁業協同組合 (伊勢市管内分)	旧東大淀漁協	47	142	189	61	136	197	
		旧伊勢市漁協	村松	68	175	243	68	198	266
			有滝	70	203	273	70	227	297
			東豊浜	46	327	373	47	340	387
			大湊	25	30	55	25	33	58
			一色	17	213	230	17	215	232
			神社	4	16	20	5	31	36
			小計	230	964	1,194	232	1,044	1,276
	旧二見町漁協	今一色	74	17	91	74	17	91	
		江	23	41	64	24	43	67	
		松下	28	44	72	28	50	78	
		小計	125	102	227	126	110	236	
	合計		402	1,208	1,610	419	1,290	1,709	
	内水面	宮川漁協	1,236	1,300	2,536	1,247	1,368	2,615	
内伊勢市管内		371	232	603	378	253	631		

(注) 宮川漁協は各年度12月31日現在

(各年度4月1日現在)

(2) 経営体数

(単位：戸)

漁業種類	平成18年度	平成17年度
小型底曳網漁業	98	69
採貝漁業	313	328
のり養殖業	31	40
刺網、一本釣、その他	123	131

(各年度4月1日現在)

(3) 漁業生産状況

(単位：kg(くろのりは千枚))

種類	平成18年度	平成17年度
魚類	238,967	261,486
水産動物類	42,798	80,292
アサリ	955,127	1,340,313
その他の貝類	84,421	15,610
くろのり	44,620	32,727
あおのり	2,023	1,641

(4) 漁船数

(単位：隻)

地区名	3t未満	3t以上 5t未満	5t以上 10t未満	10t以上	合計
東大淀	88	11	2	0	101
村松	72	10	13	0	95
有滝	100	2	18	1	121
東豊浜	105	7	8	2	122
大湊	41	1	0	0	42
一色	26	0	0	0	26
神社	2	0	0	0	2
二見町	315	12	1	1	329
合計	749	43	42	4	838

(平成18年4月1日現在登録分)

(5) 漁業就業者の年齢構成

(単位：人)

区 分	男	女	計
20歳未満	0	0	0
20～30歳未満	3	0	3
30～40歳未満	14	3	17
40～50歳未満	34	20	54
50～60歳未満	57	48	105
60～70歳未満	112	103	215
70歳以上	128	56	184
計	348	230	578
平均年齢（歳）	63.5	62.5	63.1

(平成19年3月末現在)

2 実施事業の内容とその成果

(1) 水産振興事業

① アサリ漁場造成効果調査事業

覆砂により造成したアサリ漁場について、風波による砂流出等の影響やアサリの生息状況を三重大学と共同で調査し、アサリ漁場造成手法を検討するための資料を得た。

ア 委託分

施行場所	調査名	調査概要	金額	着工	完工
村松町地先	アサリ漁場造成効果調査研究委託	稚貝着底状況調査 アサリ生息調査 ほか一式	円 850,000	18. 7. 21	19. 3. 26
村松町地先	覆砂漁場深浅測量業務 (第1回目)	水深測量33箇所 ほか一式	283,500	18. 8. 18	18. 9. 15
村松町地先	覆砂漁場深浅測量業務 (第2回目)	水深測量33箇所 ほか一式	367,500	19. 2. 16	19. 3. 8

イ 直営分

施行場所	調査名	調査概要	金額	着工	完工
村松町地先	アサリ漁場造成効果調査用種苗購入	15mm程度アサリ稚貝 2トン	円 409,500	18. 7. 27	18. 10. 31

②水産教室実施事業

水産業を将来就く職業の一つとして考えてもらうために、市立北浜小学校6年生（38名）に漁業に関する講習や施設見学、地曳き網を体験してもらい、漁村・漁業への興味の高揚を図った。

- ・ 開催日 平成18年9月4日
- ・ 開催場所 伊勢市有滝町、二見町今一色地内
- ・ 内容 講習：伊勢市の漁業、栽培漁業について
施設見学：伊勢湾南部中間育成施設、豊北漁港
漁業体験：地曳き網漁業

③各種補助金事業

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
アサリ養殖振興事業	伊勢湾漁業協同組合	東大淀・村松・有滝・東豊浜・大湊・一色町、二見町各地先にアサリ種苗を放流 放流量 59 t	円 10,333,000	円 3,099,000	アサリ生産高の向上と成長後の産卵による資源の増大を図った。
種苗（クルマエビ等）育成事業	伊勢湾漁業協同組合	クルマエビ 135万尾 トラフグ 33千尾 クロダイ 6千尾 各種苗を松阪市松名瀬海岸～二見町地先に放流	2,492,500	147,000	クルマエビ（中間育成後）、トラフグ、クロダイの種苗を放流し、資源確保と漁獲量の増大を図った。
稚鮎等放流事業	宮川漁業協同組合	（放流事業） アユ 4,160 kg ウナギ 150 kg アマゴ 160 kg オイカワ 17.3 kg 各種苗を宮川流域に放流	11,681,000	600,000	宮川流域のアユ・ウナギ・アマゴ資源の確保と漁獲量の増大を図った。
合併漁協自立基盤確立事業	伊勢湾漁業協同組合	東大淀町（大淀漁港内）に貝類荷捌施設設置 鉄骨平屋建1棟 64.8 m ² 事務室、保冷库、物置各1室	8,500,000	6,375,000	衛生管理に配慮した貝類荷捌施設を新設し、水揚された貝類の鮮度保持を図り、魚価の向上、漁家経営の安定を目指すとともに、伊勢湾漁協の販売事業の強化を図った。
計	4件	—	33,006,500	10,221,000	—

(2) 漁港関係事業

① 豊北漁港整備事業

航路に土砂が堆積し、漁船の航行に支障をきたしているため、土砂を浚渫し漁船の安全航行を図った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
有滝町・東豊浜町地内	豊北漁港浚渫工事（注）	浚渫工 A=2,700 m ²	29,925,000	19. 2. 16	19. 5. 7
計	1件	—	29,925,000	—	—

（注）平成19年度へ一部繰越

② 村松漁港整備事業

漁業者の高齢者対策の一つとして、荷揚げ作業時の安全確保並びに効率化を図るため、浮棧橋を整備する計画をすすめているが、老朽化した物揚場の整備工事を進めた。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
村松町地内	村松漁港物揚場整備（その2）工事（注）	物揚場整備 L=18.7m	16,545,900	18. 3. 28	18. 9. 29
村松町地内	村松漁港物揚場整備工事	物揚場整備 L=65.5m	56,394,450	18. 9. 15	19. 3. 7
計	2件	—	72,940,350	—	—

（注）平成17年度からの繰越分

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
村松町地先	村松漁港物揚場整備工事に伴う潜水探査業務委託（注）	潜水探査 20点	円 871,500	18. 3. 27	18. 4. 25
村松町地内	村松漁港事業関連積算業務委託	認可設計書作成一式 実施設計書作成一式	1,491,000	18. 7. 26	18. 8. 8
計	2件	—	2,362,500	—	—

（注）平成17年度からの繰越分

③豊北漁港海岸整備事業

老朽化した堤防を整備し、波浪時の高潮等から背後地を防護するため、海岸整備工事を進めた。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
有滝町地内	豊北漁港海岸堤防整備工事 (注1)	堤防工 L=70.0m	円 47,154,450	18. 2. 24	18. 12. 8
有滝町地内	豊北漁港海岸堤防整備工事 (注2)	堤防工 L=105.0m	88,091,850	18. 9. 8	19. 5. 31
計	2件	—	135,246,300	—	—

(注1) 平成17年度から繰越

(注2) 平成19年度へ一部繰越

④豊北漁港津波・高潮危機管理対策緊急事業

角落し式となっている陸こう門をアルミ製の扉式に改良し、高潮や津波の防護に短時間で対応できるように、構造設計を行い工事に着手した。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東豊浜町地内	豊北漁港海岸陸こう整備工事 (注)	陸こう製作 2基 陸こう据付 1基	15,120,000	19. 3. 2	19. 8. 28
計	1件	—	15,120,000	—	—

(注) 平成19年度へ一部繰越

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
東豊浜町地内	豊北漁港海岸陸こう測量業務委託	測量業務一式	2,091,600	18. 8. 1	18. 9. 29
東豊浜町地内	豊北漁港海岸陸こう構造設計業務委託	構造設計業務一式	3,279,150	18. 8. 29	19. 3. 15

東豊浜町地内	豊北漁港海岸陸 こう地質調査業 務委託	調査箇所 3箇所	3,007,200	18. 9. 6	18.12. 4
東豊浜町地内	豊北漁港海岸陸 こう事業関連積 算業務委託	認可設計書作成一式 実施設計書作成一式	2,257,500	18.11.27	19. 1.15
計	4件	—	10,635,450	—	—

(3) 漁港の管理

① 漁港・海岸維持管理事業

伊勢市が管理する漁港の安全対策や管理用道路の清掃業務委託を行い施設の機能維持を図った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
村松町地内	第2防波堤進入 防止柵設置工事	進入防止柵 一式	円 94,500	19. 2.13	19. 2. 20
計	1件	—	94,500	—	—

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
有滝町・東豊 浜町地内	豊北漁港管理用 道路清掃業務	清掃業務 一式	円 210,000	18.11.20	18.12.13
東豊浜町地 内ほか	豊北漁港区域変 更基礎資料作成 業務委託	漁港区域変更資料 一式	89,250	19. 3. 9	19. 3.23
計	2件	—	299,250	—	—

② 標識灯管理事業

漁船の夜間出入港の安全を確保するため、標識灯の点検を行い部品を交換した。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
東豊浜町地内	豊北漁港標識灯 保守点検業務委託	標識灯保守点検 3基	円 140,700	19. 2. 20	19. 2. 28
計	1件	—	140,700	—	—

漁港の施設

漁港名	種別	外郭施設		係留施設	
		17年度末 現在	18年度末 現在	17年度末 現在	18年度末 現在
村松	第1種	1,403 m	1,403 m	404 m	404 m
江	第1種	1,564	1,564	261	261
松下	第1種	502	502	101	101
豊北	第2種	5,939	5,939	1,784	1,784
大淀(東大淀)	第2種	1,841	1,841	424	424
計	—	11,249	11,249	2,974	2,974

(4) 樋門の管理

異常気象等による洪水防止のため、漁港区域及び海岸保全区域内に存在する樋門の維持管理及び操作を次のとおり委託した。

樋門名	所在地	委託先	委託料	区分
亀池	村松町	村松町会長 三宅義昭	円 24,700	市管理
江川	有滝町	有滝町会長 村林卓雄	24,700	県管理
社護神	〃	〃	16,500	〃
イナ川	〃	〃	16,500	市管理
浦ノ山	東豊浜町土路	東豊浜町土路町会長 大陽勇治郎	16,500	市管理

墓ノ浦	〃	〃	〃	20,600	〃
里浦	〃	〃	〃	16,500	〃
西条第一	東豊浜町西条	東豊浜町西条区町会長 中村 正勝		16,500	〃
計	8件	—		152,500	—

(5) 栽培漁業の指導・推進

伊勢湾漁協が取組むクルマエビ、トラフグ、クロダイの種苗放流について、放流適地、放流方法について指導した。

なお、平成 17 年度に完成した伊勢湾南部中間育成施設（県営）でのクルマエビの中間育成が実施され、放流サイズが大きくなり、生残率も向上した。

(6) 広域合併漁協の支援

平成 18 年 4 月 1 日に広域合併により伊勢湾漁協が発足し、漁業者の高齢化、後継者不足、水産資源の減少など多くの問題を抱える中、漁協経営基盤の強化による漁業者の経営と生活の安定を図るため、新漁協の円滑な運営にむけての助言、支援を行った。

(7) 担い手対策

水産業の担い手対策の重要性から水産教室を開催し、水産業の魅力を小学生に啓発した。さらに、水産物の安定供給をはじめ、漁業の持つ多面的機能を永続的に十分発揮させるため、漁協が主体となって、「漁業の担い手等を考える会」の発足を促し、漁業の担い手、新規就業者確保のための方策検討を行った。

会議開催 第 1 回 平成 18 年 11 月 20 日（月）

第 2 回 平成 19 年 1 月 30 日（火）